

人に支えられてきたからこそ、
人を支える自分になれるはず。



ビヨンドトゥモロー

エンデバー2019 応募受付中

児童養護施設に暮らす高校生たちによる、自分の未来への挑戦
【高校卒業後の進学準備のための奨学金給付を含みます】

BEYOND
Tomorrow

内容

- ①年間を通じた人材育成プログラムへの参加（参加に係る費用は主催者が負担します）
- ②高校卒業後の進学にむけたガイダンスや出願準備サポート（無料）
- ③高校卒業後の進学にむけた受験費用の支給（最大10万円）

対象者

応募時点で児童養護施設に暮らしている高校1年生、2年生
（選考あり・詳細は応募要項参照のこと）

応募方法

2019年2月3日（日）（当日消印有効）までに必要書類を郵送
（応募書類は全国の児童養護施設に配布しています）

選考方法

- 1次選考 書類選考
- 2次選考 個人面談（本人・施設長）
（面接は、各施設を訪問して行います。詳細は、1次選考通過者に通知します）

「エンデバー」は英語で「実現への試み」を意味し、18世紀の探検家キャプテン・クックの南太平洋探検の第1回航海の際の帆船の名前でもあり、1992年～2011年に宇宙を飛行したスペースシャトルの名称でもあります。

主催 一般財団法人教育支援グローバル基金

ビヨントゥモローは、様々な社会経済的な事情により、困難に直面した若者が、将来、広い視野と、他者の心の痛みに想いを馳せる共感力を持つグローバル・シティズン（地球市民）となる過程を応援する、人材育成事業です。



“人生で初めて、変わりたい、と思った。それは、ありのままの自分の姿を受け入れてくれる、ビヨントゥモローの仲間がいてくれたからだと思う”

－ 藤本翔 埼玉県立久喜北陽高等学校（聖学院大学心理福祉学部進学予定）

幼少期から暮らす児童養護施設で小学生の時にいじめに遭った経験から、将来、そのような想いをしている子供たちを支えられる仕事をしたいと考えようになった。いじめの経験があったからこそ、自分はやり返すのではなく、自分でそれを止めたいと思うようになったと思う。高校卒業後は、大学に進学して教員免許を取得し、児童養護施設の職員になることが夢。社会福祉分野にも興味があり、中学時代は介護ボランティアの活動に取り組んだ。エンデバーでこそなりたい自分になれることができる、と思うようになり、自分の意見をきちんとと言える人になろうと決意した。



“人前で意見を言うことのできなかつた自分が、ビヨントゥモローの活動を通して大きく変わった。ビヨントゥモローに来る度に、少しずつ自分のことを好きになる”

－ 西塚明美 岐阜県立八百津高等学校（東海学院大学短期大学部幼児教育学科進学予定）

厳しい家庭環境の中、一人で苦しんだ日々が続いたが、高校生になり、学校の先生に相談したことから、児童養護施設に入所することとなり、たくさんの人々に守られ、そして大人に甘える安心感を得ることができた。児童養護施設に入所するまでは、将来の夢を考えることもできない日々だったが、今は、自分がそうであったように苦しい想いをしている子どもたちに寄り添う仕事をしたいと考えるようになった。エンデバーの活動を通して、新しい発見をしたい、前向きな考えをできる自分になりたいと思っている。

ビヨントゥモロー エンデバーの活動内容（プログラム開催期間：2019年3月～2020年3月）

人材育成プログラム

1年間に4回程度開催される人材育成プログラムを通じ、各界で活躍するリーダーとの対話や、様々な困難を経験しながらも社会のために働くことを志す仲間との対話、社会課題について考える機会の提供を行います。様々な活動を通じて、自らの視野を広げ、自分の将来について考え、広く発信活動を行います。

人材育成プログラム開催スケジュール（予定は今後変更になることがあります）

- 第1回 オリエンテーション・プログラム 東京開催 2019年3月17日～20日
- 第2回 サマー・リトリート 開催地未定 2019年7月下旬～8月上旬予定
- 第3回 ジャパン未来リーダーズサミット 東京開催 2019年10月予定
- 第4回 総括・まとめ 東京開催 2020年3月予定

※参加に係る費用（交通費、宿泊費、食費、各種活動費）は、財団規程に基づき、主催者が負担します。

進学サポート

高校卒業後に進学を志す人を対象に、進学先の選択肢を広げるための進学ガイダンスや、出願書類準備のためのサポートを行います。また、進学のための奨学金応募に際する書類作成サポートも行っています。

※2018年度合格実績：青山学院大学総合文化政策部、慶應義塾大学総合政策学部、早稲田大学社会科学部、など

進学準備奨学金給付

2019年度に高校3年次に在籍し、高校卒業後に進学を志す人を対象に、進学準備費用を奨学金として給付します。進学のための受験に際し、センター試験検定料および、大学・短大・専修学校の入学検定料・受験料について、10万円を上限に支給します（2019年度に高校2年次に在籍している方は奨学金給付はありません）。



子ども食堂でのボランティア体験



厚生労働大臣への提言発表



仲間とのディスカッション

(児童養護施設に暮らす現高校1年生、2年生対象)
ビヨンドトゥモロー エンデバー2019 【応募要項】

児童養護施設に暮らす現高校1年生、2年生を対象とし、彼らが将来、社会のために活躍する人材になるべく進学を目指す過程を応援する「ビヨンドトゥモロー エンデバー2019」への応募を募ります。本事業は、進学準備に際して必要となる受験準備費用を支給するだけでなく、年間を通じたプログラム開催を通じ、日本全国から集う様々な想いを持つ若者が、広い視野から、自分に何ができるかを考え、主体的に高校卒業後の進路を選択する過程を応援します。

【主催】一般財団法人 教育支援グローバル基金

【プログラム期間】2019年3月～2020年3月（1年間）

【プログラムの内容】

1. 人材育成プログラム

1年間に4回程度開催される人材育成プログラムを通じ、各界で活躍するリーダーとの対話や、様々な困難を経験しながらも社会のために働くことを志す仲間との対話、社会課題について考える機会の提供を行います。様々な活動を通じて、自らの視野を広げ、自分の将来について考え、広く発信活動を行います。

人材育成プログラム開催スケジュール（予定は今後変更になることがあります）

第1回 オリエンテーション・プログラム 東京開催 2019年3月17日～20日

第2回 サマー・リトリート 開催地未定 2019年7月下旬～8月上旬予定

第3回 ジャパン未来リーダーズサミット 東京開催 2019年10月上旬予定

第4回 総括・まとめ 東京開催 2020年3月予定

※参加に係る費用（交通費、宿泊費、食費、各種活動費）は、財団規程に基づき、主催者が負担します。

2. 進学サポート

高校卒業後に進学を志す人を対象に、進学先の選択肢を広げるための進学ガイダンスや、出願書類準備のためのサポートを行います。また、進学に必要な資金のための奨学金応募に際する書類作成サポートも行っています。

3. 進学準備奨学金給付

2019年度に高校3年次に在籍し、高校卒業後に進学を志す人を対象に、進学準備費用を奨学金として給付します。進学のための受験に際し、センター試験検定料および、大学・短大・専修学校の入学検定料・受験料について、10万円を上限に支給します（2019年度に高校2年次に在籍している方は奨学金給付はありません）。

エンデバー2019は、上記3つの活動から成る、1年間の包括的なプログラムです。

【応募資格】下記条件を満たすこと。

- ① 応募時点で児童養護施設に暮らしていること。
- ② 応募時点で高校1年次、または2年次に在籍していること。
- ③ 年間を通じて開催される各種プログラムに参加する意志があること。
- ④ 2019年3月17日～20日に東京で開催するオリエンテーション・プログラムへの参加を確約できること。

【選考方法】

1次選考：書類審査

2次選考：個人面談（本人・施設長）

※各施設を当財団職員が訪問し、個人面談（本人・施設長）を行います。

【応募方法】

下記の書類の全てを、締切までに提出すること。応募書類は返却いたしません。1次選考の結果についての個別のお問い合わせは理由の如何を問わず受け付けません。1つの施設から複数名の応募が可能です。

- ① 応募用紙（指定応募用紙に必要事項を記入のこと）
- ② 施設長からの推薦状（施設長により厳封のこと）

【締切】2019年2月3日（日）当日消印有効

【裏面に続く】

【応募の流れ】 選考は、以下のスケジュールで行います。

2月3日（日）	応募締切（当日消印有効）
2月上旬	一次選考合格者への合格通知および2次選考案内送付（不合格者には通知はありません）
2月中旬	二次選考 各施設を当財団職員が訪問し、個人面談（本人・施設長）を行います。
2月下旬	最終合格者発表（二次選考を受験した応募者本人及び応募者の居住する児童養護施設長全員に可否を通知します）。

※本プログラムの合格者は、2019年3月17日（日）～20日（水）に開催される3泊4日のオリエンテーション・プログラムへの参加が義務づけられています。

【送付先】 応募書類の送付先は、以下の通りです。（切り取って郵送先のラベルとして使用してください）
 ※遅配・不達等の郵便事故の責任は負いかねますのでご了承ください。

キリトリ

〒150-8681 東京都渋谷区渋谷1-12-13
 渋谷郵便局留

一般財団法人教育支援グローバル基金
 「ビヨンドトゥモロー エンデバー2019係」 行
 （渋谷区神南1-5-7 APPLE OHMI ビル4F ETIC. 内）

局留め郵便のため、宅急便での送付はできません。

【一般財団法人 教育支援グローバル基金およびビヨンドトゥモローについて】

一般財団法人教育支援グローバル基金は、共感力ある次世代のグローバル・シティズン（地球市民）の輩出をめざす「ビヨンドトゥモロー」の運営を行っている非営利の財団法人です。「逆境は優れたリーダーを創る」を理念に、次世代を担う資質を持ちながらも、社会経済的に困難な状況にある若者たちを対象とした奨学金支給及び人材育成プログラムの開催を通し、広い視点、深い共感力をもって社会のことを考えることのできる人材輩出をめざしています。

理事	橋本 大二郎（理事長） 小林 正忠 佐藤 輝英 坪内 南 本庄 竜介 村瀬 悟	元高知県知事 楽天株式会社 取締役常務執行役員 ビーネクスト ファウンダー&マネージングパートナー 一般財団法人教育支援グローバル基金 事務局長 グリーンコア株式会社 代表取締役 メイヤー・ブラウン法律事務所 弁護士
評議員	木山 啓子 羽生 善治 宮城 治男 山崎 直子	特定非営利活動法人ジェン（JEN） 共同代表理事 将棋棋士 NPO 法人 ETIC. 代表理事 宇宙飛行士
アドバイザー	阿川 尚之 竹中 平蔵	慶應義塾大学 名誉教授・同志社大学 教授 慶應義塾大学 名誉教授・東洋大学 教授
監事	江崎 滋恒	アンダーソン・毛利・友常法律事務所 弁護士

【問い合わせ先】

電子メール：info@beyond-tomorrow.org

ファックス：03-6745-9100

ビヨンドトゥモロー エンデバー2019 応募用紙

名前	(氏)	(名)
ふりがな		
住所（郵便物送付先）	〒	
居住児童養護施設名		
電話番号	児童養護施設の電話	携帯電話
性別・学年	男 ・ 女 （○をつける）	学年
学校	学校名（正式名称）	
生年月日	(西暦) 年 月 日	
自宅からの経路	東京に行く際に使用する主な交通手段に○をつけてください。 新幹線 飛行機 船 特急 その他（ ） 上記の交通手段をとる際の、自宅最寄駅／空港／港の名前を記載してください。 []	
選考設問1： あなたの人生の中で、最もつらかった体験はどのようなものでしたか。それについてどのように考えていますか。		
選考設問2： あなたは、どんな自分になりたいですか。になりたい自分の姿を、できるだけ具体的に書いてください。		
選考設問3： あなたは将来、どのような道に進みたいですか。その夢の実現のために、高校卒業後にどのような進路を希望していますか。		
選考設問4： 現在、打ち込んでいる活動や、特技があれば教えてください。		

私は応募用紙に全ての必要事項を偽りなく正しく記入したことを誓約し、ビヨンドトゥモロー エンデバー2019 に応募します。

本人氏名（自署）： _____ 施設長氏名（自署）： _____

※提出頂いた情報は、一般財団法人教育支援グローバル基金から、財団のプログラムに関するご案内、財団の趣旨に合致すると考えられる各種プログラムのご案内のために使用され、それ以外の目的での利用は致しません。

ビヨンドトゥモロー エンデバー2019

施設長推薦書

(施設長がご記入の上、厳封ください)

施設名	
志願者氏名	

ビヨンドトゥモロー エンデバー2019 は、社会経済的に困難な状況にありながらも社会の力となる志を持つ、児童養護施設に暮らす高校生を応援しています。選考にあたり、志願者が貴施設に入所することになった背景や、日常生活における所見や志願者の人柄など、その他、当財団が選考にあたって志願者について知ることが有用と思われる情報について、下記にできるだけ具体的にご記入ください。紙面が足りない場合は、裏面または別紙に記載してください。

日付 (西暦)

住所

電話番号

施設長名

印

本状は必ず施設長がご記入の上、厳封してください。

ビヨンドトゥモロー エンデバー2019 応募を迷っているかもしれないあなたへ



飯田芽生愛 長野県長野西高等学校（慶應義塾大学総合政策学部進学予定）

幼少時に母を自殺で亡くし、児童養護施設に入所した。その経験があったからこそ、虐待を受けている子供たちや生活に困っている子供たちに寄り添うことができたり、より現実的な問題点や対策を提示できるようになったと思う。将来は、子供たちの「居場所」の創出に尽力すべく、メディア含む様々な職業から自分の歩む道を見出していきたい。高校1年の時からビヨンドトゥモローの活動に参加を始め、3年目となる今年は、仲間たちが意見を出しやすい雰囲気づくりを、自分らしい形でできるようになることを願い、活動に取り組んだ。

私がビヨンドトゥモローに初めて参加したのは高校1年生の秋でした。もともと好奇心が強かった私は、ずっと留学したいと施設長に言っていました。しかし、児童養護施設からそのお金が出るはずもなく、諦めかけていました。そんな中で、施設長からビヨンドトゥモロー未来リーダーズサミットのパンフレットを渡され、そこには「ビヨンドトゥモローは私の居場所です。」という文がありました。子どもの居場所を創りたいという漠然とした思いを抱いていたこともあり、ヒントを得たいと思い応募しました。

初めて参加したサミットの衝撃は今でも覚えています。自分の経験やバックグラウンドについて共有し、それを受け入れてくれる環境がそこにはありました。また、そこに集まる仲間たちは、それぞれ様々な困難を抱えながらもその経験をどう活かせるかと前向きに考えていました。自分が一番辛いと思っていたことが恥ずかしくなり、前を向きたいと思うことができました。今思えば、ここでの人との出会いが強い刺激を与えてくれ、私の人生における大きな分岐点になったと思います。

そして、その翌年から児童養護施設の高校生を対象とした年間プログラム「エンデバー」が始まり、もう一度、ビヨンドトゥモローのあの場に行きたいという一心で応募用紙を書きました。参加者として決定した時は、これからどんな人との出会いと刺激を得ることができるのだろうとワクワクしました。

エンデバー2017として参加した高校2年生の時は、3年生の先輩方が多くいる中で自分の意見を自由に言い、ぶつかり合い、笑い合い、一言で言うとはすごく楽しかったです。中でも、夏のプログラムはすごく印象的でした。内閣府での提言発表に向けて、意見を出し合い、話し合うときのみんなの本気の熱量は凄まじく、ぶつかり合いながらもみんなの意見をまとめていく空気感が大好きでした。提言発表を終え、富士山でのアクティビティではみんなと話し合いの時とは別人のように全力ではしゃぎ、楽しみました。オンオフの切り替えがはっきりしていて、何事にも全力なのはエンデバーの象徴です。

また、これまで人目を気にして周りの人が求めている答えを自分の意見として話すことが多かった私ですが、自分の思ったことを自由に言っても、批評してくれる人はいても、頭ごなしに否定する人はおらず、受け入れてくれました。だから、エンデバー2017として活動した1年で、私は人目を気にせず自分の意見を言ったり、やりたいことをやりたいと素直に言うことができるようになったと思います。ある意味、これまで我慢してきたわがままをいえるようになったことは、私にとって成長でした。

そして翌年、先輩方が卒業し、自分は高校3年生になり、エンデバー2018として新たなメンバーと共に活動が始まりました。春に初めて新メンバーたちと会ったときは、前年度のメンバーとは少し違って自分の意見に自信を持ってない人や心に留める人が多く感じました。高校2年生までの私は、自分の意見が提言に採用されれば嬉しかったし、先輩に臆することなく意見を言う自分を誇らしくさえ感じていましたが、今度は2年目の自分が引っ張っていこうと意気込み、たくさん意見をだしました。エンデバー2018のみんなは私の意見をみんなは肯定してくれて、そのまま提言に採用されることも多くありました。しかし、みんなの素直な意見や思いを引き出すことは出来ず、沈黙の時間が流れることも多くありました。前年度まで嬉しいと思っていたことが、悔しいこととなり、意見を言うことよりも、みんな

の意見を聞くことの方が難しいことに気づきました。同時に、みんなが自由に意見を言うことのできる雰囲気創りが自然とできていた先輩方の大きさを実感し、自分の無力さを痛感し、たくさんの方々の後悔を抱えながら家に帰りました。初めて、ビヨンドのプログラムに行きたくないと思ってしまいました。その後、夏のプログラムは部活動の大会で参加できず、次にみんなと会ったのは秋のサミットでした。サミットでは全国から高校生が集まるため、エンデバーはグループが分かれてしまいました。しかし、みんな春夏の経験を生かし、自分になにができるかを考え、チームを引っ張る姿がありました。その姿は本当に格好良くて、間近で大きく変化するみんなに刺激を受けました。

今では、みんなの変化や成長が私の頑張る源になっています。また、プログラムが終わって、ずっと繋がっているみんなと出会えたことが、一番の財産です。エンデバーは私の居場所です！

高校3年生になり、受験の際にはビヨンドトゥモローの方々に本当にたくさんお世話になりました。どの大学に進学するか、どの学部で学ぶか迷っている私に、様々な分野で活躍する方々と、直接お話する機会を作ってくださいました。メディア・政界・奨学金支援団体の方など、ビヨンドでしか出会えない方からのお話は多くの刺激と学びをえることができました。また、資料作成を手助けして頂く中で、どうしてその大学に行きたいのか、なぜその学問を学ぶ必要があるのか、と将来に対する本質的な問いをされました。そのおかげで、自分のやりたいこと・将来の夢を具体的にイメージすることができました。また、私は推薦入試だったのですが、面接ですごく困ることはありませんでした。それは、ビヨンドトゥモローでの体験や話し合いの中で、考える力を身につけることができたからだと思います。

ビヨンドでは常に、子どもたちが抱える貧困とは何か。本当のニーズはなにか。自分が将来なにをやりたいか。なぜそう思ったのか。夢の実現のためにはなにをしなければいけないのか。ということを通して過去・現在・未来と順を追って、問われます。そのため、自分の頭で考えていかなければなりません。これは、試験の面接でも役立つだけでなく、それ以上に生きていく上で、自分と正面から向き合う力を得られました。エンデバーでの受験サポートは、受験間近のサポートだけでなく、プログラム全てを通して、自分も気づかぬうちに進んでいるのだと思います。

私は、これから大学に進学します。高校一年生の時は、経済的問題から進学できるのかもわかりませんでした。しかし、ビヨンドトゥモローと出会って、エンデバーの仲間たちと出会って、自分のやりたいこと・役割を見つけていくことができました。

現在は、児童養護施設の子どものたちをはじめ、社会的養護の下にある子どもたちと社会を繋げる役割を担っていきたくて考えています。私はビヨンドトゥモローで出会った多くの方々のおかげで人生が変わりました。人との出会いは、人生の選択肢と可能性を広げてくれると思います。だからこそ、閉ざされた環境に置かれることの多い子どもたちの可能性が広がるよう、支援団体や同じ境遇の子どもたち、様々な分野で働く人々と出会い、繋がる場を創りたいです。そして、ビヨンドに応募する前から持っていた子どもたちの居場所創りという夢を実現していきたいと思っています。

最後にエンデバーへの応募を決めている人、迷っている人へ僭越ながらわたしからメッセージです！

似た環境にいる人と会ってみたい。自分と向き合いたい。変わりたい。応募理由はみんな様々だと思います。しかし、応募者みんなに共通するのは、応募用紙の前に自分の過去と向き合い、前を向いて将来に目を向け、悩んで考えているということです。私は、その悩んだり考えたりしている中で、絶対自分にとって変化が生まれていると思います。だから、参加するしないに関わらず、応募するその過程にも意味があると思います。”私なんか”とか”どうせ”とかそういう考えはどこかに置いてきて、応募用紙の問いと向き合ってみて欲しいなと思います。

あとは、それを実際に応募する勇気を持てるかどうか。その勇気を持つことができれば、人生が変わると思います。大げさではなくて、本当に。

どこかで皆さんと出会えたら、すごく嬉しいです！